

令和6年11月22日

波佐見町長 前川 芳徳 様

波佐見町議会議員 尾上 和孝



路線バス代替公共交通機関の運行に関する要望書

去る令和6年11月1日付で西肥自動車株式会社は、波佐見町内の路線バス「川棚内海線」の運行を令和7年3月31日をもって廃止する旨を発表した。このことにより、町民及び高校生の通学や通勤等に大きな影響が生じることが予想される。

町議会としては、路線バス廃止後も引き続きJR川棚駅から波佐見町に至る公共交通機関の運行を町として確保していただきたい。

公共交通機関は、町民の生活の基盤であり、住民の移動手段を維持することは町の発展にも必要不可欠である。また、現在の路線バス廃止により、住民の日常生活や町の活力にも深刻な影響を及ぼすことが懸念される。そこで、下記の事項について要望します。

記

1 川棚駅及び県立高等学校への移動手段を継続的に維持する決意表明

高校生とその保護者や通勤者は、令和7年4月1日から日常の交通手段が確保できないことに大きな不安を感じている。

町として、代替移動手段の確保に向けた準備を行っていることを今年中にはアナウンスし、これまで通りの日常生活が送れる安心感を関係者に周知してほしい。

2 公共交通の継続的な確保

JR川棚駅から波佐見町に至る区間の公共交通手段を町の責任において確保し、適切な体制づくりを進めてほしい。

3 町民の移動ニーズに応じた新たな運行方法の検討

通学や通勤の足として欠かせない現実を踏まえ、町民の生活の利便性を向上させる運行形態（オンデマンド交通の導入や定期便の設置など）の検討を進めてほしい。